

以前（平成28年の3月議会の一般質問）に多機能トイレやベビーシートについて質問しました。その件について再び質問しました。

多機能トイレというのは、簡単に言えば障害者が利用出来るトイレのことです。ベビーシートというのは、乳児のおむつ交換台のことです。障害者、乳児を育児中の保護者にとって、外出を考えた場合、外出先に多機能トイレやベビーシートがあるかどうか、外出が可能かどうかの判断材料になります。

以前の質問では多機能トイレ、ベビーシートなどの増設については、肯定的な回答ではありませんでした。現在、朝日町では、東海道の整備計画を進めています。以前の回答から2年経過したことで東海道の整備計画によって、行政がより良い方向に変化をしてくださることと期待して質問しました。

**質問**

福祉関係の多機能トイレ、ベビーシートなどについて、町として増設してはいかがでしょうか。

**回答**

福祉関係の多機能トイレ、ベビーシートなどについての町としての増設の計画につきましては、現在のところございませんが、平成28年度に中央公民館及び体育館にベビーシート付トイレを設置しています。今後も役場庁舎、教育文化施設の屋外トイレ、JRロータリーのトイレ等すべての公共施設を考えていかなければならないと思っています。

**質問**

東海道整備計画の中で、多機能トイレ、ベビーシートの案内表示を検討しませんか。

**回答**

東海道整備計画の中での、多機能トイレ等の案内表示につきましては、東海道整備計画において、来訪者に配慮した整備として、利用可能なトイレなどの情報を記載したパンフレットの作成及び誰でも利用できるトイレの設置の検討を明記しており、来年度から開催するワークショップで検討します。

**質問**

あさひタウンガイドや暮らしの便利帳への掲載は、更新時期に間に合う場合は、紙面への掲載を検討いたしますとされていましたが、どのようになっていますか。また、ホームページへの掲載を検討しませんか。

**回答**

情報誌やホームページへの掲載につきましては、あさひタウンガイドについては、更新時に掲載の検討をいたします。暮らし便利帳については、平成31年度発刊に向けて見直しを予定しており、見直し時に掲載します。また、ホームページへの掲載につきましては、「UDほっとねっと四日市」のホームページ内にあるトイレシェアリングのマップ情報が閲覧できるようリンクいたします。

**質問**

朝日町には、トイレシェアリングに賛同していただける店や医療機関、企業等もあると思いますが、町として主導権をもってとりまとめることを検討しませんか。

**回答**

トイレシェアリングの取りまとめにつきましては、「UDほっとねっと四日市」のホームページに登録していただけるよう、事業の啓発に努めてまいります。

今回の回答で改善点は以下です。

東海道整備計画の中での、利用可能なトイレなどの情報を記載したパンフレットの作成及び誰でも利用できるトイレの設置

→来年度から開催するワークショップで検討する。

あさひタウンガイド

→更新時に掲載を検討する。

暮らし便利帳

→平成31年度発刊に向けて見直しを予定しており、見直し時に掲載する。

と具体的な印刷物での表示を示されました。

ホームページへの掲載

→「UDほっとねっと四日市」のホームページ内にあるトイレシェアリングのマップ情報が閲覧できるようリンクする。

と前は否定的だったリンクが今回は肯定的な回答となりました。

全体として、町長からは、「前向きに検討する。」との回答をいただきました。

今回の問題は、全てを完備するのは難しいと思います。行政も「トイレ等すべての公共施設を考えていかなければならないと思っています。」とは言っていますが、すべての公共施設において、今すぐにできるとは言っていません。そうであれば、現在、トイレがある施設を有効に活用する方法を考えた方がよいでしょう。

例えば、教育文化施設（図書館と博物館）と保健福祉センター（さわやか村）は、開館の曜日が異なります。そうであれば、どの曜日でどの施設が使えるかをインターネット上で示すことで、利便性を高めた方が、現在できうるもっともよい施策です。行政の姿勢は、出来る範囲で努力されているものだと思います。